

副本



と第 < 書記 2

録音反訳報告書

平成26年11月17日

東京地方裁判所民事第32部1A係御中

東京都板橋区資源環境部
環境課長事務取扱資源環境部参事
井上正



下記のとおり高久秀雄氏から聴取した内容の録音データを、別紙のとおり反訳したので、ご報告いたします。

記

- 1 聴取日 平成25年8月26日
- 2 聴取者 板橋区資源環境部長 山崎智通
同資源環境部環境課長 井上正三
同部環境課管理係長 三浦亘
- 3 聴取場所 資源環境部長室

高久秀雄 (第1回)	
平成25年8月26日 於: 部長室	
部長	どうもすいません、遠いところ、申し訳ないです、お電話してきていただいて。資源環境部長の山崎と申します(高久です)。初めてですかねー(はい)。
高久	私も去年来たもんですから・・・(あそうなんですか)入院しちゃったもんですから(あーそうですか)でだめだっていうことで、急きょ・・・(環境課長の井上です)
課長	今日はお越しいただいてありがとうございます。今日お越しいただいたのは、来年度の契約について、そろそろ検討する時期に入ったので、どんなもんかということで、話を聞きたいこともあるのでお越しいただいた。24年度は小舟さんが代表を降りて、高久さんがなるということで契約上色々書類を作っていたんですけど、26年度は委託料をいくらか減額したい。背景には、どこの自治体も同じで財政状況が非常に厳しくて、むし企画に限らず、適正な設定であるんだろうけれども、色々削れるところは無いだろうというところで、削らしていただいて、今、たしか1400万ぐらいで委託でやっていたと認識しています。そこらへんで、来年度に向けて委託の中身を見ていくには細かな部分も見えないと、それが実際に適正なものなのか、適正を前提に契約しているんだけれども、場合によっては・・・契約金変えることができるのなら、見直しができるのであれば検討したい・・・。 高久さん自身は去年から代表に就任しましたがいかがですか。それまでもむし企画だったんですよね。
高久	私の方から一緒にやっていたような形でやっていたもんですから、小舟さん自体が年齢的に大分いったもんですから・・・話し合いの中で代わりにやらせていただいた。お金的には全部小舟さんの方に入金させましたんでね。(今は違いますよね)私の方に、去年切り替えていただいたもんですから。急きょ入院しちゃって、弁護士が入って(書類上そうなっているもんね)8月に切り替えていただきました。時間がかかったんですけど、弁護士の先生の方がそれでオッケーしていただいたんで(契約の中身については、色々話を聞かせていただきますけど、それはまた後ほど)
部長	ちょっとね、契約というよりもそれに伴う仕様書を見た。私も、今年の4月から部長になり平成16年ぐらいには、実はエコポリスセンターの所長だったんですよ・・・。当時、ホテルもあったんで、そのへんで、ある程度知ってて、8年ぐらいたって戻ってきて・・・当時の仕様書も見ていた。そこで質問をばーとしちゃって、分かる範囲で・・・ちょうど小舟さんと変わった。どの程度の考え、認識があるか確認もしたい。 むし企画の代表となった経緯は、小舟さんが病気されてから、先ほどもお話しされていた・・・変わったということでしたよね。 むし企画にはいつごろから入っていたんですか。平成16年ぐらい、私、当時お見

山崎 智通

	受けしなかった。
高久	結局、その頃は小舟さんの方が元気でしたんでね、小舟さんがちよこちよこ、こちらに来てましたんで・・・私の方も自分の仕事やってますもんで・・・ですから、お互いに行き来は・・・
部長	一応むし企画だったんですかね。高久さんも。
高久	いや、(違う?)、別に、個人的にやりましたんで。
部長	むし企画の組織ではなくて知り合いだったということですか
高久	だから、組織上の、できない範囲内で、いやできる範囲内で、私の方で助けていた。取引があったので物心両面で助け合いという形でしていた。
部長	なぜ聞くかという・・・仕様書の確認で・・・仕様書以外にも契約約款もあるし・・・小舟さんの引き継ぎは結構されていたんですかね、それとも時間が無くて引き継ぐよという事でやられたんですかね。
高久	ですから、そのままの形でということで、従業員からなにかから小舟さんのやっていたとき、そのままの形で受けるという話になった。
部長	それは、誰から、小舟さんから聞いたんですか。
高久	いや、そうじゃなくて、その形であれしてくださいということで・・・もう給与から何かいろいろなもんで、ホテル圖でも困っちゃうもんですから・・・そのままの形でという話がありましたもんですから、(誰から、うちの職員からですか)ですから、阿部さんからそういう話があった。(あー阿部さんからね)それで・・・
部長	仕様書もある程度見られているんですかね。今日は仕様書の話を中心としますんで、全然見たことが無いといのも困るのでお話を聞いている。一様、仕様書も見てということ。
高久	契約書も全部知ってます。
部長	そうですね、わかりました。阿部さんからの依頼も受けて引き受けた?
高久	そうですね。こちらの環境課と阿部さんとの間で話、色々していただいて(そうですね、契約するにあたって当然そうなる)区の方でも、弁護士の方にお願いしていただいているはずなんです。
部長	弁護士やったのは、私も当時の事情を知らないが小舟さんの病状が悪く、口が開けない状態なんですか
高久	なっちゃったんですよ。ぶっ倒れて頭打って入院しちゃって。甥っ子が、私が、結局そのままの形で通帳を親戚の方が預かっていたもので体は大丈夫だけど。(今も意識ははっきりしているんですか) いや、お母さんはもうなくなっているんで、身動きつかないんで(入院しているんですか)入院というよりもい(特養ホームかなんか) ええ、そのあとは特養ホームに入所している。そこで、体、先々月ですか、悪くなっちゃったということで今は病院に入っている(特養から病院に移ったんですか)
部長	ようするに、意識はしっかりしているが手足は麻痺状態?
高久	半身不随。途中で甥っ子が後見人と言う形で弁護士の先生にお願いしたみたいで

	す。通帳が止められちゃったもんですから、これがこういいふうになっちゃったんですけど、阿部さんに話して、それで環境課にも話が・・・
部長	弁護士の先生が入ったとのことで、たぶん口が開けないとか意識がないかと思っていた。
高久	通帳を止められちゃったわけなんですよ。給料からなにかになりますので。弁護士の先生とお話ししました、じゃあしょうがないから私の方でやってくださいということで、許可を出すということで。
部長	それで、高久さんは仕様書で色々やることあるんですけど、月何回ホテル施設に来ている?
高久	半分くらいですかね。
部長	月半分ということは、月20日有るうち10日間は、何時位に、うちの職員も結構行っているんですけど、見たことがないと言う人が多い。
高久	結局、夕方になっちゃうもんですから。仕事をやっている関係で
部長	仕事は失礼ですけど、どんなことを
高久	ペットの餌をやっている。
部長	ペットの餌をやっているんですか。ペットというは犬とか猫?(そうじゃなくて)魚とか?
高久	川魚とかザリガニとかカメ
部長	20日間で、夕方からうちの施設に来ている?
高久	そうですね、ときどき昼間もある。
部長	夕方から何時位までいるんですか
高久	8時とか9時くらいまで
部長	10日間いらしているのですか。私も最近行かないけど、月半分?確かですか
高久	10日くらいは来てるつもりです。
部長	つもりではなくて来てるんですね?
高久	そのくらいは来てる
部長	うちの職員見ないですかね?夕方から来て一人も見ないですか。うちの再任用職員は2名いるのですが高久さんを見たことがないと言っている。夕方というは何時位ですか?
高久	6時とか6時半とか
部長	車で来てくれているんですか。どのくらい時間かかるのですか
高久	2時間から2時間半くらいですか
部長	毎日・・・来る日は車ですか、高速使っているんですか。
高久	外環使って、こちら混んでしまうので、外環の方が混んでないので
部長	まーそうですね、外環はね。わかりました、それと基本的な話を、ちょっとなんですかと思うかもしれないが、基本的な話を伺いたいの、むし企画は何人いる?

高久	5人です。
部長	お名前は誰とか分かります。
高久	えーと、下行かないと。事務所行かないと・・・
部長	一人くらい名前分かりませんか。職員なんですよ。
高久	結局、ほら、そのままの形だから顔はあれでも名前はあれしてませんので。
部長	あー、そのまま引き受けたから、具体的にいえば、簡単にいえば会ったことないということですか？
高久	いや、ちょこちょこきてますんで、顔は分かっていますよ。
部長	顔は、分かっている、名前まで分からないですか。5人ですか。(はい) それとですね、あと、えーと、これから仕様書にはいるんですが仕様書の中で作業の内容が書いてありますよね、それで契約書で1400万円位。各作業の担当が誰かわかりますか。
高久	分からない。
部長	分からない、例えば順番で行くと水質管理というのがあって、水槽の水交換作業は誰やっているか分からない？
高久	ですから、結局私の方からあれすると、結局そのままの形でつう・・・ということだったもんですから、いままでずっとそれでやってきけるもんですから、そのままの形だったもんですから色々、だからで詳しいことは、だから
部長	阿部さんでないと分かりませんか
高久	ええ、あと綾部さんにやってもらっている。
部長	あーそうなんですか、例えば高久さんが月半分来て、この中の作業はやられていないのですか
高久	ちょこちょこと、その時にやっていたら、手伝っています。
部長	具体的に？
高久	水槽あらったり、あとはホテルの方の掃除したり、そういう形では手伝っていません
部長	あの一、仕様書の中では月5回のBOD検査とか月1回の基本検査データの提出が書いてあるんですが、当然やってもらわなければいけないので聞くんですが
高久	こちらでやってもらっていますんで。
部長	こちらとは、どなたが
高久	だから、従業員の方
部長	んーん、従業員とは、むしろ企画の今いる職員ということですか？月1回のデータ検査とか採取してね、色々仕様書にありますよね？BODとか
高久	作ってもらってますんで、そして提出させてもらってますんで。
部長	これは、名前は分からないけど、むしろ企画の他の職員、現地職員がやっている
高久	前からそういう形でやらせていただいたと思うんですけど小舟さんの時から。私になってからまるっきりあれになっちゃったということは

部長	前の通りであるとの認識？
高久	前の通りとの認識でいますんで。
部長	具体的に、高久さんの中で月半分行っているのですね。具体的に一番力入れているのは、どれっていうのがあるんですかね。
高久	ですから、ホテルに関しては、私も向こうでもいじってますんで、まるっきり素人ではないので、だから、水見ればPHどうのこうのっていうよりも、それだけで分かるような知識は持っているつもりでいますんで。(なるほど)
部長	ちょっと、具体的順番でいくね・・・詳しい話を聞きたいから来てもらったんですけど要するに・・・交換作業は直接やっていない。BODの検査も直接やっていない。月1回の基本検査のデータ・・・提出もやっていないと。
高久	ですから、結局、ほら、私の名前でやらしてもらってるもんですから、顔だけは出さなきゃならないと思って、時々顔を出しているんですけど
部長	あとエアストーンとかホースの交換しているのは誰がやっているかは私も知っている。それとか、掃除除草とかそういうのは知っている。あと、ちょっと、分からないのがね(5)番の監視、来館者等の案内及び対処補助は、これは誰がやっているのかな？
高久	その都度ですよ(そのつど現地の職員) えー、現地の職員がやっている。阿部氏に指示を受けて説明したりしている。
部長	これ、高久さんやったことないんですか、この内容は？
高久	やったことありません
部長	下の閲覧資料の作成もない
高久	はい。
部長	もっぱら現地の職員がやっている？
高久	えー、そうです。
部長	そうすると、例えば月1回の検査関係でBODやペーパーは分かるんですけど他の...
高久	結局、今いる人達は何十年もやっているから、それは分かるんで、私なんかより、よほど詳しいですから
部長	あの一、例えばね、従来通りというのは分かりませんが、水質分析結果報告書と言うのをもらっているんですけど、これで例えば、分析機械とかですね、イオンクロマトグラム法とかね、まあ、それに基づく機械はあるんでしょうけども、この機械なんて言うものは、高久さんの所の機械を使っているんじゃないんでしょうか。
高久	だから、私が受けたときからの、あの一、そういう形なもんですから 小舟さんが買ったのか、それはわからない。全部ホテル生体館においてある。私になってから線量計は買いました。(最近の話ですか) 去年。(簡易的なやつですか) こちらから、指示があったということで、阿部さんから話があって買った。区の方から指示があったからと。(阿部さんがそう言った)

部長	そうすると、小舟さんのところからの分析機械はそのままホテルの現地に置いてあって職員がやっていると。職員というか、むし企画の・・・
高久	そっちの方は、そのままの形で引き継いでいるようになっているので、(あーそうですか) ですから、それ以上の事は私も分からない
部長	現状維持の形のままで引き継ぎ、そのまま名前と代表で色々現地でやっている。それを信じて、色々信じて引き継いだと。いまもそれをやっていると理解していると(あー、そういう感じなんですか)
課長	それって、小舟さんが作っている訳ではないんだ。検査結果書は(だから)現地の人が
高久	そうです、ハンコだけ持ってきて月末なると押している(おしているんだ)(そうなんですか)
部長	例えば、仕様書にある水質検査消耗品検査費用の負担を、要するに何だこの6番に業務必要経費ということで負担すると、どういう物を負担しているか分からないと?ということなんですか、現地でやってるんですから。
高久	いや私の方からもエアポンプが必要であれば、その分に関しては私の方で補充していますけど、(あーポンプが壊れたとか言って)その他に金魚のエサ等は私のほうで補充している。(飼育に必要な機械を買っているということ)
部長	要望要請があればやっていると?まー、そういう形でやっているんですか、それは委託を受けてから・・・なんだかんだ全般はそうかもしれないね・・・
高久	ですから、お金に関しては私の方からできるような形で
部長	なるほどね、必要なものはね、それは現地とは誰から、現地のむし企画の職員から?それとも阿部さんから?
高久	いや綾部さんから(一番よく知っているから)だから、彼達の必要な物とか壊れたものとかあれば、綾部さんに話してファックス入れてもらってますんで。後は電話で・・・
部長	綾部さんはむし企画の職員ではないですね。
高久	はい。
部長	違いますよね、だけど手伝いとして連絡がくるのですか、そうなんですか。
高久	ええ
部長	あと、高久さんで具体的な話しになりますけど、現地職員って何人ぐらい従事していると思っています、現場。職員数、5人だと思いませんか?
高久	ええ
部長	だと思いませんか? 5人全員出ていると思いませんか?
高久	それは順番に休んでいるでしょうけども、なんせお正月も盆も生き物なので、ないんで
部長	あの一綾部さんとか駒野さんかな、もう一人のなんだっけ・・・むし企画じゃないと聞いてますから職員としては、だから、むし企画っていうのは職員は何人?と聞いているんですけどね。

高久	だから、小舟さんから聞いていたのは5人
課長	5人と聞いているけどわからない、実際は分からない?はっきりと・・・
高久	ええ
部長	実は、実際はねバラバラ見に行くと・・・1.2人しかいない。あの一ハチのボランティア除いてですよ、もっぱら菅野さんだけ。それと、あと、彦坂さんという女性の方がいるでしょ高齢の、あの方がたまたま
高久	ですから、あの一事務所のおばさんもなっていると思うのですが
部長	だから、それが彦坂さん、あとは菅野さん男の人いるんでしょ、その人分かるでしょ。ねー、その人達しかでていない。要するに、それでトータルすると、彦坂さんも毎日出ているわけじゃないですよ、でー、平均するとね1.6人、いや1.2人だ、5人の人が代わる代わるローテーションで出てるならいいんだけども
高久	私は、そういうふうの小舟さんの時から聞いている。(小舟さんの頃はそうだったの)だから、そのままの形できている・・・
部長 25:27	なんでね・・・私が、平成16年頃、当時、所長やっている頃、あの当時そのころはむし企画3~4人来ていた。ホテルでね、色々これからやろうと、途中で頑張ろうという時期だったですから、その頃は3~4人むし企画で来ていた。そのころボランティアは2人位きていた。なんだかんだ6人くらいで、ボランティアと別で、むし企画、3人から4人必ずいたんですよ、それが今ね、ここへきて、先ほども言ったけど、異動してきて現地でみると1.2人、約一人しかいない。だから、あれ??と思った。
高久	だから、結局、私の方から見ればたくさんいるでしょ、だから、分からないですよ
部長	でも現場見てね、菅野さんと彦坂さんしかいない、他のメンバーは全然いない。それでね、仕様書通りにやってくれてんのかなーということなんで、高久さんも1年くらいしかまだやっていない、だから、実態はね、引き継いだだけと思うけど、でも、代表といわれる方が1.2人しかいない現状を知らないようでは、それはちょっと管理上の問題有るんじゃないかなーと。さらに、状況はどうなんだっという話になっているんですよ。で、要は、差額があるわけですよ1400万も委託費を年間払っているんですよ、それで実際、高久さんが今お話しした半月行ったとしてもね、それ昼間来ている人は1.2人ぐらいでしょ、平均してね、ほとんど一人。それ以外はハチのボランティアと言われるはボランティア別ですからね、高久さんの分入れても2.2人なんですよ。で、1400万なんですよ。そうするとね、一人700万も払ってるんですかっていう感じ。たとえば管理技術者とかね設備技術者なんて今は月25万ぐらい、高くても主任技術者がね~30万。それは作業やっている25万ぐらいやったとしても、二人でやっても800万ですよ。残りの600万はどうしちゃってんのかなーっていう素朴な質問なんですよ。適正に、人数が来てやって、ローテーションできて毎日、人が付きっきりで4人とかそういう仕様になっていませんから、それはそれでいいんですよ、でも、一人の人がずっと

	来ていて、たまに交代的な2人の時もありますけど、そうした時に平均して1.2人でそれで高久さんの分も入れて、高久さんが1,000万取るかどうか分からないけども
高久	おいしい仕事ではないですよ、それだけ利益が出る仕事ではない。
部長 29:09	いや、なんで利益がないのか不思議なんですよ、だって、1人ぐらいしかいないんですよ職員が、1400万ですよ年間、1人が1,400万とるなんて高給は考えられないじゃないですか、作業しているんですからね、それが、素朴な質問なんですよ。それで、さらに分かる範囲で聞きたいんですけども、職員の給料っていくら位払っているかご存じですか、月？
高久	それは言わなくてもいいでしょうけども
部長	言わなくてもいいんですけども、大体いくらというのも全然把握できないんですか
高久	はい
部長	把握は出来ていないんですか。ま、聞いてもいいですけどね、現地で、例えば支払方法なんかもどうしているのですか？(現金です)現金で払っているのですか、現金で月、例えば役人は15日給料ですけども、・・・25日に現金払いですか・・・
高久	はい・・・
部長	そうすと、だれが渡しているのですか。ようするに、何人いるか分からないということですけども、5人分をどうやって渡しているのですか、全員集まる日があるんですか
高久	いや、そうじゃなくて、結局、決まった金額を持ってきて、あとお願いしますと。
部長	だれが預かっているのですか？
高久	だから綾部さんにやってもらっている。
部長 30:56	綾部さんが5人分の給料を預かるんですか。例えば一人400万として2000万、そんなにないなー？
課長	だれが何日来たか分からないから、毎月この金額と決めて渡しているでしょ、違うの？
高久	全部合算で
課長	5人分全額？5人分用意するのではなく、毎月、決まった額を、そうすると・・・
高久	ええ合算で
部長	100万ぐらいだね、その現金で綾部さんに渡しているのですか。(7・80)
高久	それは預かり証いただいていますよ。その時に
課長	誰に払ったかもわからない(えー) そうだよな？
高久	ええ
部長	現金なんですか 口座ではないんですか
高久	違います 現金です 私の方も申告しなければならぬので、だから、それだけは、預かり証だけはきちっと頂いています。それで、こっちでやってもらっている その他に結局、給料だけでなく、こまかいものはこちらで今日の今日でというときには買ってもらっている、だから合算でという形で、それは、小舟さんの

	時からそのような形でやっていたみたいなので、そのまま私は引き継いだ形になってますんで。それは、小舟さんと過去にどういいうきさつで、そういうふうになったかは、私は分からないですけど
課長	毎月決まった額ではないの？
高久	決まった額です
課長 32:52	では毎月決まった額を綾部さんに渡して、あとはこれでやってくれと
高久	ええ
課長	それじゃ、やりたくなるよね、決まった額を・・・事務的な処理はやらなくていいんだね、綾部さんにやってもらえば
高久	だから、・・・私は、それで。そういう形になったんで、逆に受けたようなもんで、それも全部が全部、こんど、私の方でやれと言われてもとてもできないんですもの。(まーそうかもしれないね、突然いわれてね、それはそうだ) やめろといわれれば、それは、もー止めざるを得ないですもん。
部長	ちなみに、月幾らっていうのは言えないのですか？
高久 33:52	はい、(それは、まー例えば) それは、私だけならいいですよ、過去からそういうふな形で、その金額ですつとやってきたもんですから、私がここで幾ら幾らですよって言ったら、過去から何から全部そういうふな形で、今度調べ始めるような形になっちゃうでしょ
部長	あの一、ならざるを得ないでしょうね。(そうですね、ですから) いや、あの、聞かなくてもそうなりますよ。
課長	昔の人のことを今言った方が楽ですよ
高久	いや、それは、(いや、本当に、今、話し聞いていると) (笑い) (ホテル側の・・・課長もあれでしょうから) (あー、そうなんですか) 何回も言うようですけども、私は小舟さんがやってた通りやっているだけなんで、どういう契約でどういう形で、今まで20年・・・25年やってきたか、話し合いながら、そういうふうやってきたかは、私、それは、過去のことは分かるはずないんで。ただ、こういう形でやっていますよというのは、小舟さんから、それは聞いてたから
部長	まー、あの、金額が言えなくても、例えば、持ってくる金額、現金で持ってきて、それで何ですか、あの、その代表というような月10回ぐらい10日ぐらい来ている分の自分の給料的なものは差し引いたものを、区役所から振り込まれてものを持っていくということなんですか
高久	だから・・・振り込まれたものから諸経費と給与等もろもろ、で、残ったやつは会社の経費という形で。
部長	それで綾部さんに渡すと
高久	いやそれは私の方の会社なんで
課長	もともと、それが・・・区役所から来たお金はどうしているのですか
高久	区役所の、確かむし企画として・・・そのままの、新規にやると大変になっちゃう

	んで、だから、そのままのむし企画でやってくださいということでは言われたもんですから、新たに銀行の方も、こういうわけでこうでということ、それで、説明して納得して頂いて、それで通帳、むし企画代表高久秀雄で別個に作ったような形で、私の方の処理は結局、経理さんにあれしましたら、じゃあ、合算でいきましょうということだったもんですから合算で申告の方は、会社としてありますんで。・・(年度途中)・・・それで、すぐにそれで振り込ますからと聞いていたんですが、結局、色々あったみたいで結局、7月か8月ですか(3カ月分くらい)溜めてはまずいということで、ぎりぎりの段階で、こちらが、さっきいったように経理課の方ですか、弁護士のところに行ってハンコももらったりして、やっとという形で契約という形で、契約は終わってなかったんですけど、振り込みを私の方の通帳にということで、2カ月だか3カ月・・・。
部長 38:01	ようするに、区の方でもお願いして、口座を作って、個人の、まー、代表だということで、もともと、高久さんの口座、高久さんの会社だったらないから、新しく口座を作ってくれと、お願いで、分かりましたということで作った。それで
高久	私の方は、会社でそのままの形で、会社であれかなと思ってたら、急ぎよ、虫企画でということになっちゃったもんですから(個人代表というんですかね、個人経営と言うんですかね)急ぎよ、通帳、(作ってくれと)えー。
部長	で、それで入って区から振り込まれて、まあ、年間ね、120万円それくらいのが振り込まれて、それでそれを、その口座から、今度、高久さんの会社の口座に入れているんですか、それと、現金は・・
高久	だから、(現金は)両方たしてっておかしいですけども、両方使ってますんで、会社の通帳も、だから、それは合算でやってます、あくまでも
部長	でも、口座は別なわけですよ
高久	いや、だから、あくまでも別、振り込んでいただくのは、別でも仕事自体は一色単という形でやってますんで
部長	でも、口座は作ってくれたわけですよ、口座は作って、もともと有った口座とは別の(ええ)口座を作って区から振り込まれましたねえ
高久	ええ
部長	その金の一部は現金は、ホテルの施設のあそこの現地の綾部さんへ現金を持っていくと、で、例えば、個人経営としての諸経費的な要素のものは(えー)そのものは
高久	ですから、あの一、買うのは、あくまでも、問屋さん等は、会社名義で買ってますんで、別にむし企画で買ってるもんじゃないんで。また、逆に、それじゃ、おかしくなっちゃうんで、私の方も、ですから、あの一(こちら本業)えー、でやってますんで
部長 40:19	それ、でも、分けてないとおかしい・・まずいんじゃないかなあ(区からむし企画に入って)(はい)(本業の方の口座に入るのと、まあ、現金・・)
高久	いや、こっちに入ってます。(こちらに入る・・)はいむし企画に(ここから)・・

	ですから、合算でこれ両方合算で(合算と言うと)えー、合算であれしてます(我々素人だから、そんなことできるのかわからない)だから、これ税理士に聞いたらば、だから、申告こういうわけで、板橋区との契約なんだけどもということ、じゃあ、全部合算で申告しようという話で、ですから(現金は)お金は、あの一ワールドフィッシュ成田の、あの一あれに入ってますよ、売り上げに。売上に全部(売り上げとして本業に全部入るんだ)はい
課長	この上に、ワールドフィッシュ成田がいて、むし企画がいるんだ、それで区がいるんだ
高久 41:33	だから結局、用意ドンで、むし企画でやってくださいとのそのままの形で引き継ぎの形でむし企画を残して、むし企画でやってくださいという形になったもんですから、私の方はこういう風な形で
部長	そういう話はうちにした?実は本業のほうで(言ってますよ)それは(用意ドンの時)阿部さんに
高久	えー阿部さんからも、こちらに入っているはずですよ
部長	口座・・(口座に入って、直接本業の中の一部にはいちゃうと)要するに、口座に持っていくんでなく、現金で引き出して使ったりすると?必要な経費
高久	えー仕入れはワールドフィッシュ成田で仕入れてますんで
課長	じゃあ、むし企画からワールドフィッシュには通帳に振り込みはないんだ。(ないです)ここから出した現金をこちらの会社で使っていると、だったら高久さんの収入に物として、ここで使っているという話なっちゃうのか。収入になったお金を自分の会社のために使っていると。(ん)そうですね。(ん)ただ、その時にホテルに収めなくちゃいけないなんか機材はその・・で使ってホテルに持っていく
部長 42:57	え、あの一、ワールドフィッシュというのは職員さんいらっしゃるんですか
高久	自分以外に一人(一人って言うことは高久さんだけ、もう一人いるんですか)ええ(むし企画の金は、現金で引き出す・・)
部長	それって、会計的に一つやってもいいけど、例えば、うちの委託の範囲内のやっているものを、購入したり何だかにして台帳とか帳簿はあるんですか
高久	全部ワールドフィッシュ成田で書きますので、
課長	それはもー、うちは分からないという訳ですよ
高久	だから、もってきなさいというからもってきましたけど、こういう形で、あの一、ワールドフィッシュ成田であれしてますけど
部長	まー、でも、あれなのか、会社としては一つの会社で色々運営している中のホテル委託を受けていると、でー、会社の収益って言うか経費もある色々やるのは部門的にはホテルという部門で会社名でだしている、と、買っていると、おかしくないというのは、そうかもしれないね
高久 44:12	経理としてはそれで処理できるからと、別に個人で、それをむし企画やらなくても合算でできますよってことで、いやーできるということ
部長	そうですね、なにも分ける必要がねー、あるかといえば・・個人経営だしとか

高久	だから、(なるほど) 私のほうは、もう用意ドンの時から、ワールドフィッシュで(最初からそうしたかったんだ) えー契約したかったけど、なんそれをつうことで
課長	税理士は、ワールドフィッシュがむし企画の仕事をしていると考えているでしょ
高久	そうです。
課長	だからどっちが親
高久	ワールドフィッシュ成田が(笑い)
課長	ワールドフィッシュ成田が区の仕事をやっていると
高久	ええ
課長	契約書見てないでしょ税理士は
高久	ええ、見てないです(そうでしょ)
課長	うちはむし企画と契約交わしているでしょ、ワールドフィッシュとは契約交わしていないから、税理士さんはワールドフィッシュがむし企画と契約している、いや、むし企画じゃないは区と契約しているとおもっている可能性がある
高久	いや、むし企画として契約しているのは分かっていますよ
課長	では下請け(えー)
高久	だから、一色単にやっていることは分かっていますよ(おかしい・・・)
部長 45:36	いやー、本当は個人経営っていうことにしないで、ワールドフィッシュさんと契約すればいいんだろうけども、でも、そうなると随契じゃなくて、区としては入札だよと(えー)当然ですよ、初めての業者さんになるからね、いくら個人的経営だっても、でも、随意契約にするためには色々相談して、えー(だからこちら)むし企画にしなればいけなかったと
高久	板橋と阿部さんとの話し合いの中でどういう形であれだったか、私の方では分からないが、(まーそうだよ) (そういう話だよ) ただ、むし企画としてそのままの形で、あの一、契約続行という形になりますよということで、だから、新たに、あの一、通帳を作ってくださいという形一言われたもんですから、だから銀行の方、だから私は最初は、だから私のあれで契約だと思ってたわけですよ(なるほどね、そうかもしれない普通でいけばね)、だから、別に、最初は、そんなような名前を変えるだけでいいっていう話だったもんですから、話と言うよりは、阿部さんから聞いていたのは、むし企画でそのままの随意契約でっていうことで・・・ そして、そのうちに、なに作りなさいかに作りなさいということで、あの一、印鑑証明出さない、あの一、住民票出さないとかってでてきたものですから、最初はなんにもいらない、あの一、印鑑証明だけでってことだったもんですから
課長	そうすと、小舟さんがやっている時はほとんど関与していなかった?
高久	そういうものに関しては、まるっきり関与していない
課長	じゃあ、小舟さんの話がきて、あなた、どう、やってみない
高久 47:25	じゃなくて、にっちもさっちもいなくなっちゃって、だから、結局止まっちゃった訳ですよ、お金が、小舟さんが

課長	小舟さんのお金がホテルに、結果的にホテルにまわらなくなっちゃって、それが止まったって言うんでしょ
高久	それで、急ぎよ、じゃあっていうことで、(だれかいけないかと) えー、いや、その前から、私、ほら1年・2年も給与を運んだりなんやかんやしていましたもんで、(あー手伝いはしていたと) えー、小舟さんから通帳を預かって、それで銀行に行って下ろしていた(笑い) それを、ずっとやっていたもんで、(なるほど) みんな知っていましたんでね、役場の人から何から、司法書士から何から全部知っていましたんで。私がやっているっていうのは、分かってましたんで。だから、それに対して、私はこれだけ、ね、あの一、納品して、んー、これだけ必要なんでお願いしますって、だから請求書と合わせてもって行って、そこでおろしてその分だけおろして、そして、あの一
課長	高久さんはホテルで使う機材を搬入する仕事から入ってって、小舟さんに頼まれるようになって、現金運んで、一部自分の売り上げは持って帰ると
高久	ええ、ええ
課長	それで、じゃあ、一番、高久さんが一番ふさわしいであろうと(えー) そういうこと(笑い)
部長 48:50	それで、区の契約が随契だったのでそれがネックだったんだね、それで、入札としてやるんだったらいいけども、随契となると、むし企画の随契の理由でむし企画でなくてはいけなくていい訳だよ、それだから高久・・・代表を替えなきゃいけない。むし企画がメインになるわけだからね、それが随契の理由ですからね。ワールドフィッシュになっちゃると、法人違うんだから、あの一、随契できないと、そういう話なんだね
高久	ええ(なるほど)
課長	小舟さんって、自分の所で誰が働いているか分かってなかったでしょ、同じだよ、言われた額を運んでるだけだもんね
高久	だと思っただけだね
部長	小舟さんは大分、私、見たことがあるのですよ当時は。あの一、夜のね特別公開とかたまに来てね、その、手伝いか結構やっていたんですよ、それは知ってたんですよ当時はね。・・・いやーそうですか・・・(笑い)
部長	でも、そういう状況ではないんですよ お金が絡むから(代表者になっちゃってるから) そー(あの契約書で)・・・それでね、一番最初に言いましたけどね職員が3、4人いるのならいいんですよ、いないんですよ。たとえば、仕様書で何人つけなさいとは書いていないですよ。それは事実なんですけども。でもね、当時からするとね非常に減額されて、でも、それが1人1,000万円払っているんだというね、なんだかんでも払っているんだよと言うという論法もありますよ。それにしてもね、あまりにも人数が減っちゃってる。その差額はどうしたんですか、いうことなんです。1400万円毎年ね、やっていて、で、簡単に言えばね、で、最初に聞いたのも仕様書に基づいたね、特に私なんか見て思ったのは水質検査、

	<p>分析、来館者の案内対応補助、施設の閲覧資料の作成、これやっている人はいないんですよ。現地には。たとえば、仕様書の通り全部やっているんならね、4人いようが1人でいいだろうという論法もありますけどね、この、今言ったものは、やっていないですよ。当時平成16年は、いたんですよ、やっている人がね。結構、案内する人がね。むしろ企画の人もやってたし、いま、やめちゃったけどね。みんな辞めちゃったけど、それとか補助的な資料とかも、まあメインは阿部さんがやるにしても、手伝い、補助ですからね、そういうものとかね、水質検査なんかもね、水質検査、当時、私あんまり、誰やっていたかは分からなかったけどもね。今日聞くとね、高久さんやってないということは、誰がやってんの、少なくとも、このやってない部分っていうのは、区はお金を払っているわけですよ、その他の除草とかそういうものは、水槽とかやってもらっているのは菅野さんが色々頑張ってもらっているのは見ているからね。その他の、当時やっていたものが無くなっている。それが、例えば、阿部さんがやったの？で、(52:09) その差額、区の職員がやってるんだしたら、差額がでる訳じゃないですか、そうすると一般的にはこの分の仕様書のやるべき事が減ったから減額契約とか、減額して、それで当然、むしろ企画の高久さん代表なんだから、いや、これはこうゆうふうには掛かるから、ちょっとね、減るわけにいかにか、後は交渉しながら、それで、じゃ、この補助は、今来館者が多くないからあそこね、老朽化とかね、時々ね、でも、昔に比べれば、そうすると、もう、じゃその分少し減らそうとか、老朽化だから昼間は見学者を入れないんですよ今は。建物、耐震で危ないんじゃないかと、そうすと、もう、その分減らして、ね、減額して契約して、ま、高久さんの分入れてね、二人分ぐらいの人員でね妥当な金額なら、まだいいだろうけどね。そのまま随架だからということで、そのまま来ちゃってるんですよ。適正なのかっていうのがね、私が見た感じは適正には思えない、ということなんです。それでちょっとね、続けますけども、じゃ、職員の給料っていうのは、現金で綾部さんに(えー)現金を渡していると、それも5人分ということでいいんですか。</p>
高久 53:34	<p>ですから、結局、私の方から、さっきから言っているように、用意ドンで小舟さんの時からその金額で決まらずと、それをやってるから、用意ドンから、その金額だっていう、あの一をもとに、その金額を・・・</p>
部長	<p>いや、だから金額は教えませんよという話だから、金額は分からないけども100万か80万か知らないですよ、教えてくれないから、その分が5人分かっていうことですよ。5人職員がいるなら。</p>
高久	<p>だから、そういう風に聞いてますんで前から、だから、それで、それ以上分からないです、私も。(前から聞いている、そうかもしれない) えー、ずーっと、だから、小舟さんの時もその金額を運んで来てましたんで、だから、それであたりまえだって私は、(まーね、前はよかったんだものね) えー、それでやってますんで、綾部・・・</p>

課長	<p>全然、額は変わっていない(はい)額は変わっていない？小舟さんの時と、今と</p>
高久	<p>いやー20万位</p>
課長	<p>渡す額が？</p>
高久	<p>あ、それは、じゃなくて契約の方が、契約は変わらない、(綾部さんに渡す額は)一緒です。(変わっていない)</p>
課長	<p>綾部さん通帳に入れるのかな？</p>
高久	<p>聞いたこともないですしねー。だから、それですーと、それが、私が受けつけた時に当たり前だって、もー、小舟さんがずっとそれでやってきましたんでね</p>
部長	<p>まー色々ちよっと聞いた話だとね、あの一、その一、3人位いたのがね、1人ぐらいいになったのが2、3年前からだっていうのですよ。だから、多分、小舟さんがだんだん年をとって来て関与することがちよっとね、その辺、分からないけどね、移りつつ、高久さんのところになったときに減ったという話も聞いているんですよ。だから、最初の頃はね知らない、受けてから代わった以降の話で・・・かも知れないけど、実態そうかもしれないかも、ただ、ある時期はあるんですよ。その時期に、から減ったという話を聞いているんでね。従来通りやってくれば何も問題ないんですよ、ただ、違うんですよ、現地が(56:28)</p>
高久	<p>えらい時に引き継いだもんです</p>
部長	<p>そう思いますよ</p>
課長	<p>だから、今のうちに(わたしそうおもいますよ)私なんか今のうちに気付いた方がいいかもしれない、これ以上、傷口・・・</p>
部長	<p>で、あの一傷口っていうよりね、ちよっとこれ、厳密な話をしてね高久さんはびっくりするかもしれないけれども、あの一例えば、受けたものがポスト数(聞き取りにくい)がないからいいんじゃないかと、ようは、これとこれをやってないものがあるじゃないですか、現に仕様書で、それが何ポイント やってないものに対してそれを知っててずっと区からやったごとく、ずっと金をもらっていると代表ですからね。代表の責任っていうのは重いですよ。で、一般的に言うと例えばね罪、罰にあたる行為ですよ。例えば、背任とかね 詐欺までいくかどうかは分からないけど、知ってて差額の収益を得てて改善しなかったと、で、それを高久さんが全部握っていた訳じゃないのは分かっているのだけでもね</p>
高久	<p>全然知らなかったのですよ(57:46)</p>
部長	<p>でも代表というのは重いのですよ</p>
高久	<p>それは分かりますよ。言うことはわかりますよ。そうならしまったら私の方も弁護士を入れてやるしかないです。なんにも分からない</p>
部長	<p>いやーそうなると思いますよ。なると思いますよ。(この場合は)それが、例えば、今のうちだって、あれだったら、要するに知らないわけですよ、で前任のまんまやったわけだとね</p>
高久	<p>今現在やっている状態がいいと思って小舟さんもほら、そんな形だったものですから、だから、そのまんまの形で(58:28)</p>

部長	だから、例えばね、誘導するわけじゃないけどね、今、色々話聞いていると全然知らない、前任の言うまま、本当、首据え変えて、頼まれたからやった。だから、一番大事なのは誰が頼んだのかとかね、要するに知らないわけでしょ。だから、いいと思って頼まれて、その頼んだ人が悪いってことになりえるじゃないですか。どこまでとかはありますよ。今、初めて今日そういう事実を知ってね。・・(笑い)・・だから、身を守るんだったら、誰に頼まれたとかね、誰、例えば、今の話の中で言うとね、小舟さんと阿部さんですよ。どっちかですよ。で、どっちにたのまれたんですかという話になるんで、身を守るという、両方かもしれないけど。どう見ても、あの、病気なわけでしょ、小舟さんは。それ以前に、急にポット成るんじゃないかと、手伝っていたわけでしょ。ね一手伝いというのは小舟さんの指示かもしれないけど、今の現状の指示っていうのは、いったい誰かな、ということになるんですよ。(そう・・)
	それで、ま、これは税金の納付はワールドフィッシュさんがやっている、これはコピーしていいですね。(はい)これ証明になりますからね、要するに所得税上はちゃんとやっていたと、むしろ企画じゃなく、こっちがメインだと。それはそうかもしれないですね。それと、またね、脅されると言われるかもしれないけど、私、客観的に言っているだけなんだけどね。中に損害賠償というものもあるんですよ。7番にね、上記の条項に違反し、区に損害を与えた時はその損害を賠償しなきゃあ。少なくとも、やってない業務ね、私はやってないというようなことになってるけどね、それは弁護士が入ってやっていますよ、となるかもしれないしね。それは、なりますけど、その片の事でやってないんだたらね、損害賠償を請求することにもなりかねない。あの阿部さんも知らないですよ、まだ。今日高久さんが入って、とんでもない話だよと聞いて初めて知るんだと思いますよ。ただ内部的にはね。やっぱり、お金の出し入れとか、お金をちゃんと適正にとか。
高久	阿部さんの方には今の話しちゃっていいわけですか
部長	だって黙れといっても、黙る訳ではないでしょ(笑い)そんな話じゃ、俺代表やだよという話になるかもしれないけどね。(1:01:40)いやーだからあれですよ、あの・・
高久	こんな風になっているとは、夢にも思いませんでしたよ。
部長	でも、ちょっと不自然だと思いませんか？いままでやっててもね、なんで現金をさー、な、だって現金をさー会社で受けて、ま、小舟さんの時もそうだけどもね、現金を現地に持って行くなんて、ありえないじゃないですか。それで、ちゃんと自分が、自分の職員がいちよういるわけでしょ、小舟さんにしても、色々集まりかもしれないけど、ちゃんと渡さなきゃいけないでしょ。代表といわれる社長さんは、それをさーボランティアと言われるような人にそっくりと預けてやるなんておかしいと思いませんか？(笑い)組織で・
高久	なんとも言えないですけどね(笑い)
部長	そういうやり方もありますよ。そういうやり方をダメだってことはないですよ。

	でも、私はおかしいんじゃないかなーと思うのが普通ではないかと思えますけどね。
課長	もらっている人は申告などしてないでしょ。1:03:03
部長	してないでしょ、だって、現金で渡しているんですから(そうですね)
高久	それは、私の方もやっぱり心配してました。(心配してたでしょ)・・やっぱり、頭の中にありますよ・・
課長	支払い明細ないですものね。誰に払ったかもわからない。いくら払ったかもわからない。・・言いつつ考えた方がいいんじゃない？
高久	それはやっぱりありますよ。(それはそうだよ)
課長	金額全体は高久さんの収入、いや会社に回しちゃっているのか
高久	ええ、会社の売り上げにあがっていますので。まあ、相当な金額になりますので。その売り上げもあるから、まあ・・
課長	それは計上していない？
高久	え、計上している。
三浦係長	あんまり言いたくないんだよね。その先まで調べられると困ると。
高久	まあ、入るようなことはないと思いますが。(笑い)
部長	それは申し訳ないけど、うちが通報するかもしれないですよ。
高久	大丈夫です。ちゃんと、あのー、あれしてますから。あの、上げてますから全部、きれいに。それと、今、全部振り込みでしょ、通帳見れば、もー全部わかるでしょ。
部長	でもね、今の話を聞いていると・・だって、高久さんの会社に役所から入るでしょ、で、一部門をホテル部門として(それは)給料現金で持って行くなんて、税務署・・信用・・
高久	それは、預かり証、さっきいったように、もらってますよ(預かり証、信用しませうかね)それは分からない。(だって個人ですよ、相手は)預かり証だけは、ちゃんともらっています。
課長	誰が発行しているの？
高久	え、綾部さんが発行している(綾部さんが)・・・・・人件費でおとしていないですから、人件費で落とせないですから、だから、名前もなにも、ほら、出ない訳ですから。だからー、
部長	それって税務署って所得隠しと思われるのではないの？人件費でもなければ何に使っているのという話になるじゃないですか、だれかに預けている
高久	とりあえず処理の方法は「雑」でやっています。1:05:53
部長	でも税務署そういうところ見るでは、所得を別に隠しているんでしょうと、ただ、預かり証・・
高久	大丈夫 うちはお金ないから。
部長	でも、それは年間・・調べますよ税務署だって。預かり証を、わざわざ預かり証まで出して、ね、出してたから隠し口座はないよという訳かもしれないけど、

	相手が知ばつくれたりしたら。もー
高久	いやー、その金額、通帳から引き落とししているから。(あ、現金・大丈夫か・)だから、その金額、通帳むしろ企画からおろして持って来てます。だから、日にちは何日かのズレはあっても、そんなに、とんでもない日にちのずれは通帳とまるつきり、あれとは、まるつきり、違うようなあれはありませんから
課長	その先は分からないと。(01:06:59)
部長	小舟さんのやり方のまんま、そのまま引き継いでいると。(えー) その先は分からないと。・・・(毎月100は行く・おそらく100でしたら・)
高久	金額そんなに出しちゃったら、ないですよ。諸経費が相当ありますから、ありますよ。だからさっき言ったように、こんな怒られるほどおいしい、あれではないですよ。(大丈夫怒ってません・じゃあ80ぐらい・)
課長	ハンコを押した限りは、しょうがないですよ。ハンコを押した限りは・
部長	まー、基本的には小舟さんのまま引き継いで、阿部さんの指示もあって、従来通り行っていたということなんですよ。詳しい内容聞かれても、私は急ぎ頼まれてやったから、よく分からないと。で、これから一生懸命やれって言うなら、それは考えるけど、いいと思ってやって来たから、今言われても困りますというところですか。(笑い)
課長	間違いなく阿部さん？綾部さんじゃないよね(はい) 阿部さんの指示？・綾部さん・
高久	そうですね。(阿部さん・) その辺は、そうなんですよ。その辺の詳しい事情はわかりませんが。それは分からない。だから、何回も言うように、そのまんまの状態で作ってただけなんで私は、だからその前の内情から何か、そういうものは全然分からないんで、で・いー・いー・皆さんから・(01:09:31)
部長	ただ、あれでしょ、あの代表が去年変わったでしょ。変わった・それで、それがね小舟さんが口も聞けるかどうか分からないけど、そういう状態で指示できている訳がないじゃない。受けた頃ね、だから・
高久	急ぎよ、あれなんですよ、だから、さっきから言っているように、急ぎよ、もー、止められちゃったんで、お金を。あの一、弁護士、あの一、だから何にも一銭も入れられなくなっちゃったから、そいで、・じゃあつう形になったわけですよ。
課長	通帳を止めたのは弁護士？
高久	そうです 弁護士というよりも、弁護士それから、あの裁判所ですよ。後見人にしちゃったから。甥っ子が、それで手続き始めちゃったから。
課長	一番困るのは誰だったのですか
高久	私なんか困りますし、それから板橋のホテルの方も
課長	一番困るのはホテル？
高久	ええ
部長	月費用がなくなっちゃうんだもんね、一番困るよね(えー)

高久	で、急ぎよ、送ってもらって、そいで、そういう形になったんですね。そいで、こちらの区との間で、あの一、阿部さんと区の間でこれ作ってくれ、あれ作ってくれと、そういう形で私に話が来たものですから。そのたんび、都度、あの一、印鑑証明だ、あるいは住民票だという形で持ってきた訳ですよ。私は、そのままでいいと思うから契約したのであって、そういう形になるんなら、契約なんかしないですよ
課長	高久さんって、行ったときには出勤簿みたいなもの自分で押すんですか
高久	ないです。(いっさいないなし) はい。
課長	でも、業務日誌とか書いているの知らない？(01:11:55)
高久	あ、知っていますよ。(高久さん・) (えー)
課長	それは、誰が書いているの？
高久	だから、綾部さん。
課長	綾部さんが・高久さんがうちに・、綾部さんに合わないときもあるね。(そうですね) じゃあ、なんで分かるの。(え、だから、だれかに・) その時間帯って、いるのは誰なの？
高久	阿部さんがいたり、阿部さんはほとんどいますよね。あとは、あの一、何、ハチの方をやっている・。
課長	駒野？(えー) 綾部？
高久	えー何人かいますよね。まだ、時間的に・6時とか6時半の時間帯ね
課長	我々もその時間帯まで粘ってれば会えるんだ。
高久	だから、なんだから出てこいって言えば、もー、出てくるしかありませんよ、俺なんかだって。朝から出てこいと言われてれば、あなた代表なんだからと今言われたように、代表なんだから、出てきてよと言われてれば、ねー終わるまでは、3月終わるまでは、ねー出てきますよ、それは。(笑い)
部長	代表毎日いるとは言いませんよ。代表なんですから。(出て来いって言われれば出てきますよ)・(だってしょうがないですもの、それは) いやーそこまでは言わないけども、(あれですね) 勤務のローテーションなんかも従前のままを受けて、詳しいことは分からないと
高久	そうですね。(01:13:32)
部長	小舟さんってのは、意識ははっきりしているのですか？ 例えば、そのね、従前受けた、依頼を受けたんだけど、それを、例えば我々に聞いてね、どうだったんですかということ(だから) 聞いたら話できるんですかね。
高久	いや、だから、今さっき言ったように、もー入院しちゃって、もーだめですよ(だめ) だから、あとどれくらいもつのか分かりませんが。
部長	そんな状況ですか。・・・(後見人・)
高久	しょうじ倒して、ぶっ倒れちゃって・、ぶっ倒れちゃって頭打って、そして・こんなに問題になっているとは思わなかった。(笑い) さっき驚ろかされちゃったように、ねー、そしたら私の方も弁護士でも探しておかなければ、どうしよう

	もなくなっちゃうよ。
部長	そうなっちゃうよ。(ねー) うちほうちでね、役所として適正なね対価をやらないものを毎年払うわけにないから、だから弁護士同士になっ。そうですか、後なんかありますか。せつかく、色々、脅してるような感じで申し訳ないんだけど。
課長	話かえていいですか。(はい) あとハチのことはなにか知っていますか (01:15:45) やっているのは分かっていますか。
高久	はい、やっているのは分かっています。えーそれ以上のことは何も知らない。
課長	最近増えたとか減ったとか?
高久	分からない。いやー暑くてやっぱり死んでますよね。この暑さですからね。
課長	死んでる? 冷たくしなければならぬ? (暑さ・) そういう話をして、死んじやうと
高久	輸送も無理でしょうよ。この間私が送ったものも全部死んじやうた。(あーそうですか)
課長	北海道に送ったの (いやいや) 能登?
高久	板橋のホテル園への餌
課長	餌を送ったの? なんの餌
高久	小さいの、いやいやそうじゃなくて、魚がいるでしょ
部長	ハチって魚を食べるのですか?
高久	いやいや、そうじゃなくて、魚の話、(あー魚) ハチはまるっきり分からない。関係していませんので。
課長	肉食の魚がいるの? あそこ
高久	オヤニラミ? とそれから、それから四十万の、一番角っこに、(魚がいるの) (肉食) そういう物に関しては、あの、補充しています。あと、何、どういう魚を探してくれとか。なんだか、水槽があれだけありますのでね。
課長	言われるから、言われるがままに買くと、ホテルと直接関係ないでしょ。(01:17:48)
高久	ですから、一切だって、という話で聞いていますので、言われれば、はい分かりましたと、そいで小舟さんの時からずっとその形でやってきましたので。だから。
課長	小舟さんの時もワットフィッシュさんが入っている? 他の業者は入っていない?
高久	いや、小舟さんは小舟さんで自分の、あの一お付き合いの間屋さんだなんだかんだありますから、そこからもらって、あの一持ってきて、。いや途中から、じゃあ、あの一頼むねってことで、それでやってましたんで、間屋さんの契約の時も、こっちから連絡があれば、で、請求書は小舟さんの所に出すちゅう形でやってましたんで。それを引き継いだような形しか私は分からないんで。それであたりまえで、それで契約だと思ってたもんですから。まさか、うしろでこんなふうになっているなんてのは、まるっきり分かりませんので。。。。
部長	係長聞きたいようなことはありますか。ないですか。まあ、事情はよく分かりまし

	た。分かりましたけれども、今後ね、色々動きがあるかもしれませんが、お金が絡みますので簡単にはいかないと思ってください。(笑い)
高久	自分に降りかかる話になれば、それは1から10まで私が分かっているやつは全部言いますよ、それは。それは、だって自分に係るものだから。今、ね一部長さんが言ったようにね。(代表ですものね) その場合には、も一、ほんとに私の方も弁護士立ててお願いしてやるしかないですもん。分かることを弁護士にね、あの一全部あれして、それで書類、今さっきいったように、ね一預かり証から何から何まで出して、通帳からなにか全部ひっぱり出して、全部説明して、それでやるしかないですよ。だから、こっちきてる用品からなにかなんでも全部。でこれだけしか、私は現金も持っていませんよって (そうですよね) 全部それは、できますもん、私の方だって。ん、最悪の場合は、やっぱり、自分を守るしかないですものだって。こっち、ね一守たっしょうがないですもん。(そうですよね) できることならね一穏便に終わりたいと思ってますからね。
部長	じゃわかりました。すいません、長い間、ありがとうございました。(01:21:22)